

平素より、本校教育活動にご理解・ご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。第1回学校評価アンケートの結果をまとめ、学校運営協議会でもご意見をいただきましたのでお知らせします。これらの結果や皆様のご意見を踏まえ、今後の教育活動に活かしていきたいと思います。ご協力ありがとうございました。

## 第1回学校評価アンケート結果

児童・保護者・教職員が同じ項目について、児童は自分の行動について、保護者や教職員は、子どもへの働きかけについて実現度を振り返っていただきました。

観点



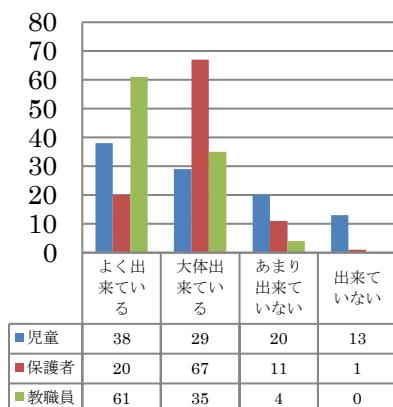
- 夢に向かって自ら学び、他者と協働しながら高め合う砂川の子 (確かな学力)……A
- 思いやりの心をもち、仲間とともに伸びようとする自律した砂川の子 (豊かな心)……B
- たくましい心と体を育み、「いのち」を大切にする砂川の子 (健やかな体)……C

番号	項目	観点	質問内容	児童実現度	保護者実現度	教職員実現度
1	生活に関すること	B	進んで元気よく挨拶している。	92	87	96
2		B	学校が楽しい。	95	95	95
3		B	学校や学級のルールを守っている。	95	97	100
4		B	友達と仲良くしている。	98	96	100
5		B	ていねいな言葉づかいをしている。	89	82	87
6		B	掃除や整理整頓をしっかりしている	91	65	87
7		C	進んで体を動かしている。	87	71	82
8		B・C	自分の良いところが言える。	67	87	96
9		B・C	困ったときは、学校の先生方に相談している。	77	92	91
10		B・C	PTAや地域の行事によく参加している。	40	45	52
1	学習に関すること	A	授業がよくわかる。	96	84	92
2		A	授業中、人の話をしっかり聞いている。	96	89	87
3		A	友達と協力して学習をしている。	95	70	91
4		A	宿題や家庭学習をしっかりしている。	94	87	87
5		A	進んで読書をしている。	87	53	78
1	その他	B	学校での出来事を家族に知らせている。	87	94	87
2		B・C	学校いじめの防止等基本方針の内容を理解し、組織的対応に努めている。			96
3		A・B・C	児童・保護者の訴え(アンケート結果含む)や相談内容を共有している。			95
4		A・B・C	教職員に気軽に連絡や相談がしやすい。		82	

※実現度は「よく出来ている」「大体出来ている」を合わせた結果

### 【生活に関すること】 (実現度)

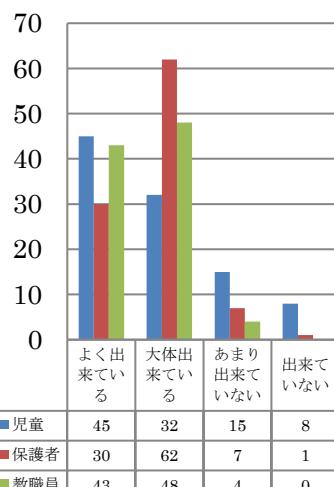
#### ⑧自分(児童)の良さを認める



『自分(児童)の良さを認める』については、昨年度に引き続き児童の実現度が低く、特に思春期に入る高学年になるほど実現度が下がっていく傾向が見られます。また、教職員96%と児童67%の結果には大きな隔たりがあり、教職員が考えている以上に児童の自己肯定感が低いということを受け止め、重点的に以下のような対応をすることが必要であると思われます。

自分自身の良さを認めるためには、周りの人と関わっていく中で認め合うという経験が大切です。今年度、本校では、生徒指導の中核となる3つの機能「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を育成する」を生かした授業づくりに取り組んでいます。また、係活動やたてわり活動(異学年交流)などを通して、児童の活躍の場を作っていくようにしています。児童が互いの考え方や思いを尊重し合う関係づくりを通して自己肯定感を高めていくとともに、子どもたちの活躍しているところを見つけて認めていくことを大切にしています。保護者の皆様におかれましても、今後とも子どもの話を聞いたり、頑張ったことを褒めたりするなど、子どもに寄り添った関わりを引き続きお願い致します。

#### ⑨困ったときは先生に相談する

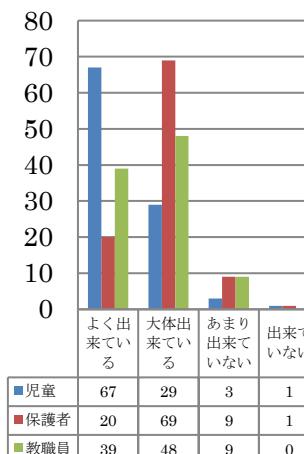


保護者と教職員の実現度が90%を超えているのに対して、児童の実現度は77%となっています。大人が思っている以上に、子どもたちは悩みや困りを抱えている現状がうかがえます。

子どもたちが、何に困っているのか、日々の様子やいじめアンケートから深く見取ったり、子どもたちが相談しやすい状況を作ったり、声かけをしたりしていくことで、子どもたちが安らげる学校にしていきます。保護者の皆様もお気づきの点がございましたら、学校までご連絡くださいましますようお願い致します。

### 【学習に関すること】 (実現度)

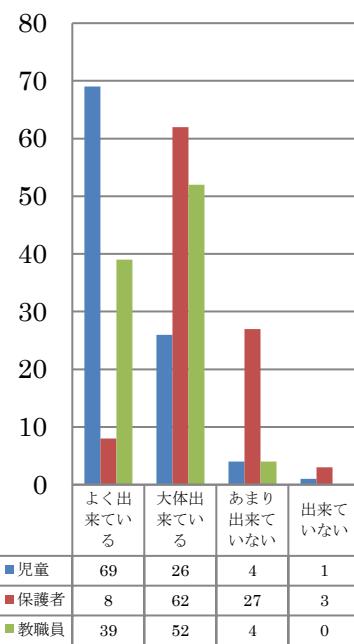
#### ②人の話をしっかりと聞く



それぞれの実現度は、児童96%、保護者89%、教職員87%と、全体的に高くなり、本校が育成を目指す資質・能力の一つである傾聴力が身についてきています。

話をしっかりと聞くというのは、相手の意図を理解し、自分の思いや考え方を表現する基礎となるものです。対話を通して学びを深め、互いを高め合っていく子どもたちを育てるために、話の聞き方や意見のつなぎ方の指導を重ねていきます。

### ③友達と協力して学習を進める



本校では、子どもたちが互いの考えを出し合いながら学びを深めていく対話型授業を進めており、友達と協働して学習・活動する機会を多く取り入れています。学習問題をペアやグループで話し合い、解決していく過程を通して、学習内容の定着や新たな学びにつながるよう日々取り組んでいます。

保護者の皆様には、学校での子どもたちの学習の様子をホームページやおたよりなどで、今まで以上にお伝えしていくとともに、授業参観などで子どもたちの対話や協働的な学びの場面を見ていただけるようにしていきたいと思います。



### 【保護者自由記述欄より】 抜粋

- コロナや変化する状況の中で対応してくださっている教職員の皆様に感謝しています。コロナで保護者も学校の活動に関われないことが多くなりましたが、子供の環境を良くする活動には出来る範囲で協力していきたいと思います。
- ネット回答が便利で良かったです。遅刻欠席連絡をこういったネットを使ったものに変えて欲しいです。(藤森中のようなもの)近隣に子供が居なく登校班の集合場所が遠い時に、体調不良の子を残して連絡帳を託しに行くのは難しかったです。また、低学年のお友達に連絡帳をわざわざ離れた我が家まで持ってきてもらうのも気が引けてました。連絡帳にはプライベートな相談などを書く場合もあり、他人の手に渡るのは好ましく無いと思います。連絡帳以外の遅刻欠席連絡方法が有ると良いと思います。
- コロナ禍にあっての学校生活を守り、安心して過ごせるよう取り組んでいただきありがとうございます。梅シロップ作り、縄文土器作りなどの体験学習をありがとうございます。家でもとても楽しそうに話しており、美味しくシロップいただいてます♪ このような生活に関わりのある体験授業を今後ももっとしていただきたいです。
- 遠足のような課外活動や、運動会や学芸会などで他学年と同じ空間で行事をすることを何かの形で子供達にも体験出来る場をなんとか作って欲しいです。よろしくお願いします。
- 今期は体験学習の機会を設けていただきありがとうございます。体験からいろいろと感じられるところがあるようでよいですね。

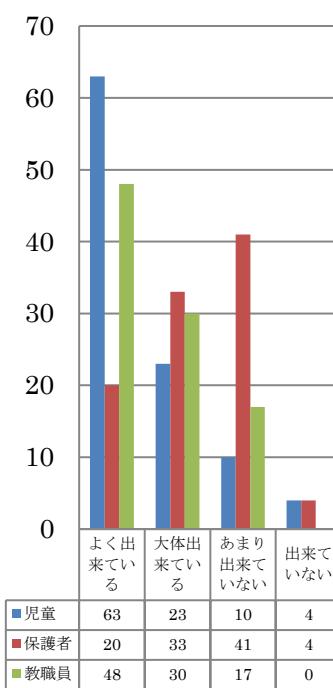
### 【学校運営協議会理事会】より

- ・長引くコロナ禍により、子どもたちが様々なことを経験する機会を失っている。大人が子どもを心配し活動を制限するのではなく、コロナ禍にあった活動の在り方を明示し、子どもにさせてみることも大切である。
- ・自己肯定感が低い傾向にあるのは、全国的にも同じはあるものの、コロナ禍による経験不足から一層加速しているのではないか。子どもたちが自信をもてるようになるためには、「困難を乗り越えた」という経験や「人の役に立っている」という実感が得られるようにすることが必要である。
- ・挨拶は以前よりも声が出てきているように感じる。学校安全ボランティアや交通安全推進委員の方々に毎日声をかけてもらったり、毎月の合同スマイルで地域の女性会の方や子どもたちが挨拶運動をしたりすることで、子どもたちにも挨拶の意識が芽生えているように感じる。大人が進んで挨拶をする姿を見せることが大切である。
- ・家の中で過ごすことが増えているため、子どもたちの体力は低下している。子どもたちに外で体を使って遊ぶ経験を積ませることが大切である。
- ・コロナ禍でPTAや地域の行事が少ない状態が続いている。リスクを考えると実施することは難しい。子どもたちがイベントを待っている様子は分かるので、バランスを取りながら進めていきたい。
- ・子どもの好きな本にも変化が見られ、視覚的に目立つ絵や写真の本が選ばれるようになっている。本は視覚ではなく、自分で考えたり、想像したりする楽しみ方がある。本のよさを実感できるような取組が必要である。



貴重なご意見をありがとうございました。ご多用の中、アンケートにご協力いただき、本当にありがとうございました。第2回目の学校評価アンケートも、Microsoft Formsでの回答となります。お手数をおかけしますが、お子様1人につき、それぞれ回答をいただきますよう、ご協力どうぞよろしくお願い致します。

### ⑤進んで読書をする



傾向として児童・教職員の結果はおおよそ似ており、「よく出来ている」が多いものの、保護者は「あまり出来ていない」が多くなっています。学校では、毎日読書タイムを設けており、全ての子どもたちが読書をしています。また、児童の読書意欲を高めるために読書啓発を司書の先生と連携して行ったり、図書館で本を読む時間を設けたりすることで、読書の習慣が定着するようにしています。今後、学校で借りた本を家庭で読むなどの取組を検討していきたいと思います。読書の楽しさを子どもたちが実感し、語彙力や想像力、思考力を伸ばしていければと思います。